

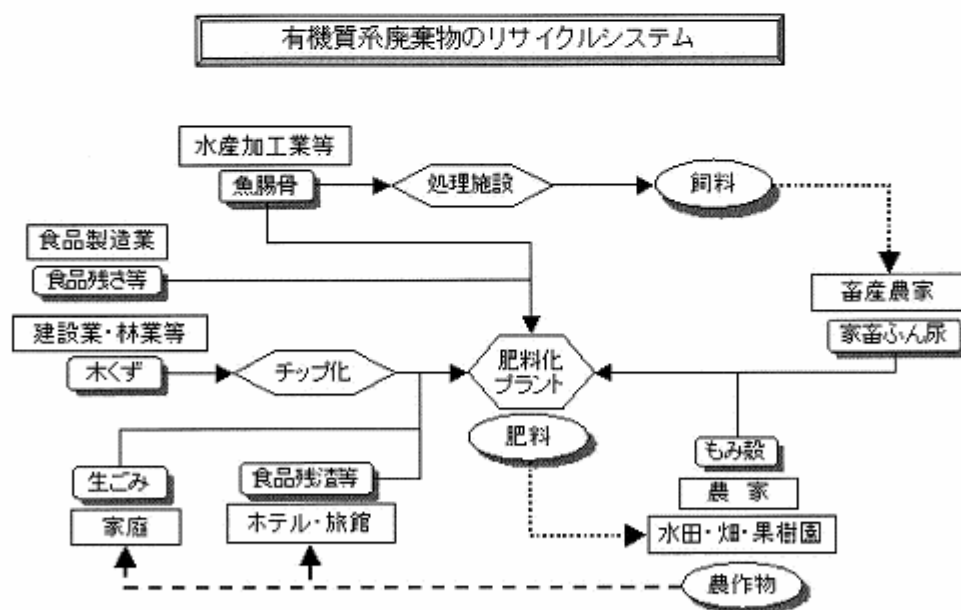
#### (4) 食品廃棄物（生ゴミ）の有機堆肥化

施設名	生ゴミ堆肥化設備（有機肥料製造施設）		
施設（事業）所在地	佐渡市相川大浦、羽吉、滝平（近日稼働）		
運営主体名	「土の会・トキメキ佐渡」		
運営開始時期	平成13年11月		
原料名 （処理量）	生ごみ及び木質バイオマス 約700t/年 （3箇所稼働時予定 約1000t/年）	利活用製品等 （利活用可能量）	有機堆肥 約350t/年 （3箇所稼働時で約予定 約550t/年）
運営概要・特徴			

家畜糞尿、生ごみ、木質バイオマスから製造された肥料を地域の農業者等へ供給し、生産された農産物を地域に還元する地域資源循環事業を行っている。

- ・ 収集に係るポイント→有機ゴミの分別。排出先での分別が最も効率的。  
（公的分別回収、分別指導が重要）
- ・ 変換（製造）に係るポイント  
二次エネルギーを使わない微生物による安価高性能設備であり、運送コスト対応の分散型施設が特徴である。

1、予備発酵 好気性発酵（24時間）→ 2、本発酵 嫌気発酵（24時間）  
→ 3、熟成（2カ月）完成。



また、地域の産官学連携により、エコアイランド社会形成に向けたリサイクル活動の紹介、リサイクルシステムネットワーク化支援などの活動を実施している。

<p>取組契機 (開始の背景)</p>	<p>持続可能な社会に向け、環境、食、農業生産、の安全にそれぞれ危機感を覚える有志3名で平成2年「土の会・トキメキ佐渡」を立ち上げた。</p> <p>そして、まずは有機農業への取り組みを考え、本簡易プラント堆肥化方式での堆肥化事業を開始した。海外でも実践されているゼロ・ウェイスト運動や最も環境に優しい循環型資源活用を目指し、当方式を採用した。</p> <p>「ゼロ・ウェイスト」… 焼却せず、環境負荷を減らしながら、リサイクルと堆肥化でごみを出さないようにする手法で、1996年からオーストラリアの首都キャンベラなどで実践。</p> <p style="text-align: center;">主な目標</p> <p>①有害物質を排出しない ②大気汚染しない ③資源をムダにしない</p>
<p>事業効果 (最新実績等)</p>	<p>平成13年11月開始以来、約700tの生ゴミを焼却することなく、350tの有機堆肥を製造し有機農業に供している。</p> <p>回収先 スーパー、病院、学校、ホテル、飲食店、等。 堆肥使用先 有機栽培農家、自治体農園、学校農園。</p>
<p>課題 (今後の方向性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持続可能な社会へ向けた、環境の島「エコアイランド佐渡」に貢献すると共に、島外からの技術支援要請にも応えてゆくため、会員を募り、循環型有機農業普及へ向けて活動を拡げたい。</li> <li>また、一次産業をベースに六次産業へと産業振興を図りたい。</li> <li>・ 事業の継続に向けて採算性が不可欠であり、自治体クリーンセンターからの事業委託、堆肥販売を視野に入れている。</li> </ul>
<p>仕掛け人からの 運営開始又は運 営上のワンポイ ントアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 循環型有機農業、ゼロ・ウェイスト(ゴミゼロ)運動は、行政主導でなく、住民の内発的活動の活性化へ向けて、目的、情報を共有した普及活動を進めるとよい。</li> <li>・ 住民の意識向上をもって、行政の後押しをするのがベター。</li> </ul>
<p>廃棄物処理法等 関係法令への対 応</p>	<p>一般廃棄物の収集運搬業の許可、処理業の許可。</p>
<p>補助制度、融資 制度の活用状況</p>	<p>活用していない。</p>
<p>照会先(住所、 電話、FAX、Eメール 担当者名及び視 察受け入れの可 否)</p>	<p>「土の会・トキメキ佐渡」 代表 亀井省吾 〒952-1209新潟県佐渡市千種1008 TEL0259-63-4544 e-mail kameis@nifty.com <a href="http://homepage2.nifty.com/sadogashima/youki11.htm">http://homepage2.nifty.com/sadogashima/youki11.htm</a> 視察については、上記宛ご一報ください。</p>